

「永原小学校の吉左右踊り・太鼓踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	始良市立永原小学校
2. 学年・人数	全児童 38 人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年9月18日（水）～26日（木）4回 永原小学校体育館及び校庭 (2) 発表の日時・場所 令和6年9月29日（日） 永原小学校秋季大運動会・永原校区運動会 永原小学校校庭
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名 称 県指定無形民俗文化財 吉左右踊り・太鼓踊り（きそおどり・たいこおどり） (2) 由 来 旧加治木町に伝わる太鼓踊りは、由来が古く、特に本校が位置する西別府地区の太鼓踊りには吉左右踊り（きそおどり）が付随しているという特徴がある。吉左右踊りは、ドラ打ちという道化人（赤狐、白狐という）と数人以上の踊り手2組で構成される。白緋（しろがすり）の着物を着て毛頭をかぶり、薙刀を持った朝鮮軍と、黒緋の着物を着て白鉢巻を結び太刀を持った薩摩軍とが、互いに向き合って斬り結ぶ間を、赤狐・白狐がひょうきんな身振りで回る。狐は、島津義弘が朝鮮での戦いで道に迷ったとき、2匹の狐が道案内をしてくれたという伝説に基づくものとされている。 (3) 構成等 吉左右踊りは、ドラ打ち2人・朝鮮軍・薩摩軍それぞれ10人で隊形を組み、薙刀や太刀、扇子を持ち、口元に付けひげを付けて踊る。太鼓踊りは、鉦打ち（かねうち）3人・太鼓打ち20人で隊形を組み、太鼓や鉦を打ちながら踊り、陣笠をつけた兵士姿の者が背に黒い羽根のついた矢旗を背負い、胸には締太鼓をさげ、口元にはひげを付けて、左右に足を上げながら太鼓を打ち、勇壮に踊る。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	毎年、9月の秋季大運動会で披露するために、保存会の方々に踊り方を伝授していただいている。総合的な学習の時間等を中心に練習を重ね、秋季大運動会では鉦や太鼓の音を響かせて発表し、喝采を浴びている。また、夏季休業中に行われる「加治木太鼓踊り大会」に親子で参加している児童もいる。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 練習の様子  運動会での様子
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 初めは、太鼓が重くて踊るのがきつかったけど、練習しているうちに慣れてきて、本番では、楽しく踊ることができた。来年もがんばりたい。 【教員】 地域の伝統文化財を残していくために、今後も保存会の方々と協力していきたい。